



清水丘小学校



(令和8年5月1日現在)

所在地	〒558-0033 住吉区清水丘2-9-41		
電話	06-6673-1101・1102	FAX	06-6673-1019
URL	https://swa.city-osaka.ed.jp/e731666		
校長名	岩崎 哲		
児童数	515名	教職員数	50名
学級数	24学級（うち特別支援学級6）	集団登下校	なし
標準服	なし		

教育目標

自ら学ぶ態度や心豊かに
たくましく生きる力を育む教育を推進する。

目指す子ども像

なかよくする子 考え伝えあう子 元気な子

校長メッセージ

清水丘小学校は、住吉区の西南部、清水丘1丁目から3丁目を中心とした地域にある学校です。校訓「強く・正しく・美しく」のもと、仲間を大切にし、基礎的・基本的学力の育成を図ることをめざして教育活動を進めています。特に高学年児童の自発的・自律的な気風が強く、低学年児童も交えた児童会活動もさかんです。地域の方々のご協力のもと行う生活科や社会科の学習も活発に行っています。

学校協議会会長メッセージ

清水丘小学校学校協議会は、保護者や地域の皆様にこれまでと同様、学校に関心を持っていただけるよう、先生方といっしょにさまざまな面から検討を行っています。学校の教育活動や地域・PTA・学校との連携、地域独自の教育活動等、それぞれについてふり返りを行い、よりよい清水丘小学校にできるよう努めています。児童の健全育成に向けて、今後とも皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いします。

▶▶ 運営に関する計画

年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を87%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「自分にはよいところがありますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。
- 今年度末の学校アンケートにおいて「いじめはどんな理由があってもいけないことだ」の質問に肯定的な回答をする児童の割合を90%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考えに気づいたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を84%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を86%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、自分のペースで理解しながら学習を進めていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を60%以上にする。
- 時間外勤務時間について、年720時間を超えて実施する教員をゼロにする。

学校行事

1学期

- 4月 入学式、始業式、1年生を迎える会、避難訓練・保護者引取訓練、家庭訪問
- 5月 春の遠足、新体力テスト、学習参観・懇談会、交通安全指導
- 6月 学習参観、プール開き、フレンド集会、一泊移住5年生（淡輪大阪府立青少年海洋センター）
- 7月 懇談会、終業式、夏季休業

2学期

- 8月 夏季休業、始業式
- 9月 避難訓練、学習参観・懇談会、プール納め、学校選択説明会
- 10月 運動会（学校公開）、秋の遠足、就学時健康診断
- 11月 修学旅行6年（志摩）、交通安全指導、清水丘フェスティバル、学習展示会
- 12月 懇談会、終業式、冬季休業、防災デー

3学期

- 1月 冬季休業、始業式、避難訓練、耐寒なわとび、給食週間
- 2月 耐寒かけ足、入学説明会、学習参観・懇談会、クラブ発表会・展示会、学習参観
- 3月 6年生を送る会、卒業式、修了式、春季休業

入学式



フレンド集会
(児童集会)



運動会での演技



卒業式



▶▶ 令和7年度全国学力・学習状況調査の結果から明らかになった現状（調査対象：令和7年度の小学6年生）

【平均正答率（％）】	国語	算数	理科
	58	50	45

- 国語科の平均正答率は、大阪市平均を7ポイント、全国平均を8.8ポイント下回った。学習指導要領の内容全般においての底上げを図る必要がある。特に、文章等から必要な情報を選び、要約していける力の向上を目指した取り組みを進めていく必要がある。総合的読解力を高める取り組みを進めていく中で必要な情報を選択できるスキル、自身の考えを整理する能力を磨いていく。
- 算数科の正答率は、大阪市平均・全国平均を8ポイント下回っていた。これまでも取り組んでいる基礎的な計算力の向上を目指す反復練習を継続していくとともに、図形やグラフ、表などから必要な情報を選んで課題に取り組んでいくデータ処理力をより磨いていく必要がある。
- 理科の平均正答率は大阪市平均を10ポイント、全国平均を12.1ポイント下回った。実験や観察から得た結果から考察して法則を導き出す科学的思考力を磨いていく必要がある。特に、観察結果や文献資料などを整理して考察する力を磨いていく。

▶▶ 令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果（調査対象：令和7年度の小学5年生）

【種目別平均値】									
項目	握力(kg)	上体起こし(回数)	長座体前屈(cm)	反復横跳び(回数)	20mシャトルラン(回数)	50m走(秒)	立ち幅とび(cm)	ボール投げ(m)	体力合計点(点)
男子	14.05	20.00	31.74	38.79	42.63	9.41	144.51	21.36	50.53
女子	14.39	21.42	38.07	39.67	34.05	9.46	145.63	15.02	56.45

体力合計点では、男子は大阪府平均より1ポイント、全国平均より2.5ポイント下回っていた。女子は大阪府平均を4ポイント、全国平均を2.5ポイント上回っていた。男子の体力向上が課題である。継続的に運動好きの児童を増やす取り組みを進めてきたので、運動好きの児童の割合は増加している、その意欲を保ちつつ体力の保持増進に向かっていけるよう、体力テストの結果に基づいた体育学習の単元構成や目標設定の工夫、集団で高めあえるような体育的行事の構築などを進めていく。

【P 75 に全国・大阪市平均を掲載。ご参照ください。】